柔道整復実技Ⅳ(下肢①)		実技	非常勤講	師林	勇磨	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目		科目ナンバリング		12371301	

1. 授業のねらい・概要

本講義では、臨床柔道整復学IVで学んだ知識を実技で実践する。骨盤~足部の骨折の評価法や整復法、固定法などを理論的に理解し、実践することで技術の習得を目指す。

2. 授業の進め方

教員による解説、デモンストレーションの後にグループ斑で実技を実践し、繰り返し練習する。

3. 授業計画

1	1	4	1	ダ	` > /	フ
		7.1	1	/	_	$^{\prime}$

2. 股関節~大腿部の触診, 徒手検査

- 3. 大腿骨頸部骨折の整復固定
- 4. 大腿骨骨幹部骨折の整復固定
- 5. 膝周囲の触診, 徒手検査
- 6. 膝蓋骨骨折の整復固定
- 7. 下腿部の触診, 徒手検査
- 8. 下腿骨骨幹部骨折の整復固定

- 9. 足関節の触診, 徒手検査
- 10. 果部骨折の整復固定
- 11. 踵骨骨折の整復固定
- 12. 中足骨骨折の整復固定①
- 13. 中足骨骨折の整復固定②
- 14. 足趾骨折の整復固定
- 15. 実技テスト

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を復習しておく(1時間程度)。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

試験実施の際、終了後に回答のポイントおよび出題意図を解説する。

6. 授業における学修の到達目標

各外傷に対する整復、固定ができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢(30%) 期末試験(70%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

柔道整復学・理論編 改訂第7版,全国柔道整復学校協会監修,南江堂,2022年 柔道整復学・実技編 改訂第2版,全国柔道整復学校協会監修,南江堂,2012年

9. 受講上の留意事項

私語および携帯電話の使用、飲食、帽子の着用は禁止とする。 実習着の着用、必要なものについては事前に連絡するので必ず用意すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、医療機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。